



まの話題



防災意識を高める

平成27年度防災気象講演会「災害は必ずやってくる」早めの判断・行動で自らの命を守る」が、1月15日にさわふじ未来ホールで開催されました。波平常則さん、新城格さん（ともに西原台団地、在住）、神谷大介さん（琉球大学准教授）が講師を務めました。

新城さんは「一番の課題はコミュニケーションです。また、防災技術のある人とならない人がともに訓練し、できることを増やしていくことが大事です。それが防災意識の高揚につながります」と述べました。



講演会の様子

食事から健康をめざして

西原町食生活改善推進員協議会（比嘉清美会長）設立10周年記念式典が、1月22日に保健センター中ホールで開催され、活動報告や功労者表彰などが行われました。比嘉会長は「一層元氣な西原町になるよう、地域と行政の架け橋として精進します」と10周年の祝辞を述べました。

また、式典に合わせて健康展や低塩分のみそ汁の試食、食事バランスチェックなどが行われ、来場者の関心を集めました。



健康展の様子



表彰者のみなさま

栄養をチエック

バランスのよい食事のとりかたを教える授業が、1月29日に西原東小学校で行われました。授業では、食育S.A.Tシステム（フードモデル）が活用されました。同システムを使い、4、5人でグループを組み、日ごろの食事の栄養バランスをチエックしました。

各グループは偏りのある栄養分を補い、また減らすための話し合いを行うなかで、栄養バランスについて学びました。



結果を待つようす



学んだことを発表するようす

卒業前のお茶会

西原南小学校6年生65名が、同校お茶クラブの指導をして、お茶を振る舞うようす

川満妃桜さんなどお茶クラブに属する生徒が、姿勢や歩き方に気をつけ、「お茶をどうぞ」と声かけしながら、お茶を振る舞いました。抹茶やお菓子を味わった生徒から「おいしい、おかわりがほしい」などの声がありました。



お茶を振る舞うようす

お菓子を味わうようす

支えあい見守りあう

第19回西原町社会福祉大会（新川善昭大会長）が、2月2日に中央公民館で開催されました。同会は「個々の暮らしを支えあえる見守り活動を地域ぐるみで推進しよう」をスローガンとしています。

喜屋武則政さん（桃園区）による活動報告や島村聡さん（沖縄大学准教授）による講演、地域における福祉の発展に功のあつた方々の表彰などが行われました。また、上里一之さん（大会役員）が「町民主体の支え合いや見守り活動の体制づくりを積極的に進めていくことを誓う」と高らかに宣言しました。



大会の様子

大人気消防体験

第15回ファイヤーフェスティバルが、2月14日に東部消防組合消防本部消防署構内で行われました。当イベントには東部消防管内の3町（西原町、与那原町、南風原町）の小学生が参加し、放水や消火器の取扱いなどを体験しました。

放水体験では水圧の大きさに振り回されないようしっかりと握りながら的を目指して放水しました。また、救急法体験ではAED（自動体外式除細動器）を活用した心臓マッサージに取り組みました。さまざまな体験に子どもたちは目を輝かせていました。



消火器訓練の様子



救急法体験の様子

笑いあふれる口演

矢野大和さん（おおいた観光特使）による口演会「家族の絆、親子の絆、地域の絆」（西原町教育委員会主催）が2月14日に、さわふじ未来ホールで開催されました。矢野さんは、高校時代に始めた落語の経験を生かし、話のなかに笑いを入れることから「講演」を「口演」としています。

矢野さんは舞台から降り、観客の目の前で実例を交えながら話をしていました。観客は終始笑い続け、口演後も矢野さんの著書を購入する人で賑わっていました。



矢野さん（写真中央）



口演後の様子

しまくとうばで伝えます

平成27年度しまくとうば継承・推進事業として「子どもしまくとうば講座成果発表会」（西原町中央公民館主催）が、1月31日にさわふじ未来ホールで開催されました。発表会は「しまくとうば」の大切さを意識づけ、復興寄与を目的としています。

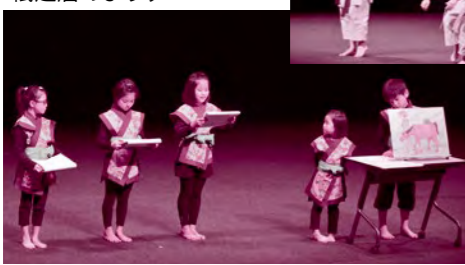
町内の児童が歌や踊り、空手や紙芝居などを交えながら、練習してきた「しまくとうば」を披露しました。

「しまくとうば」を上手に話す児童に、観客や指導者は驚き、感心していました。上演後は子どもたちが「いっぺーにふえーでーびる」と声をかけながら、観客を見送りました。



空手のようす

紙芝居のようす



スイミー上演

組踊版「スイミー」（嘉数道彦 国立劇場おきなわ芸術監督 脚本・演出）が1月24日に、さわふじ未来ホールで開催されました。組踊のあらすじは、義兄弟をジンベエザメに食べられてしまったスルル小（キビナゴ）がグルクンやミーパイなどの助けを借り、敵討ちを果たすものです。字幕もあり、組踊を見慣れない方でも楽しめる舞台となりました。

上演前には組踊の理解を深めるため、嘉数さんが「さわりん」に組踊の基本を教えるシーンもありました。



上演のようす

さわりと嘉数さん

のびるくん 出荷

（公社）シルバー人材センターが開発した、アミノ酸液肥「のびるくん」お披露目会及び販売セレモニーが、2月9日に西原町リサイクルヤードで行われました。「のびるくん」は、給食センターなどから出た生ごみから生成されます。西原町とシルバー人材センターが連携し、「循環型社会」の構築の一翼を担うものとして、積極的な推進が図られてきました。

上間町長は「限りある資源の有効活用が求められています。『のびるくん』の活用で、環境への意識が高まることを期待します」と述べました。



出荷式のようす